



定時制通信 No.1

岩手県立大船渡高等学校定時制 令和4年7月5日発行



今年度がスタートして3ヶ月が過ぎました。新型コロナウイルス感染防止に配慮し、予防対策を講じながら学校行事を実施しております。

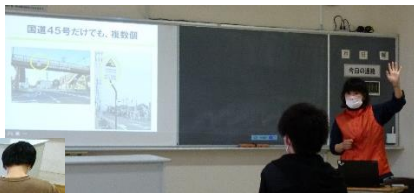
本校定時制では全学年合同で「総合的な探究の時間」を行っています。「復興教育」をテーマとし、

防災教育・健康教育・キャリア教育を三本柱にしており、4月からは防災学習に取り組んできました。これまでの活動の様子をお伝えします。

4月26日(火) 5月17日(火) 防災マップづくり

大船渡赤十字奉仕団の新沼真弓さんを講師にお迎えして防災マップづくりを行いました。ワークショップでは、水害についてハザードマップを元に大船渡市内の白地図に色を塗りながら危険な場所を確かめました。また、津波浸水区域を示す看板、大雨により増水した川、浸水の恐れがある場所等の写真を見た後、自分で色を塗った地図に避難所などを示すシールを貼りました。自分たちが暮らす現実の町とハザードマップを結びつけました。今回の体験により生徒自身の安全意識が高まるとともに、自発的に身を守る行動をとる上で必要な知識を得る貴重な機会となりました。

自然災害の危険が身近にもある



数年前に大船渡にも大雨が降っていた!!

5月24日(火) 防災想定訓練

シェイクアウト訓練の後、応急手当を学びました。はじめに学校のどこにAEDがあるか確認し



ました。次にケガの種類と手当の知識を学びました。足首を捻挫したと仮定し、三角巾を使って固定の練習をしました。三角巾は災害等で負傷した腕、膝、手のケガなどに対しても使うことができるもので具体的に折り方や結び方を学びました。



サポーターよりもしっかり固定できる

6月15日(水) 防災体験学習

～学ぶ防災 宮古市田老地区～

120分の予定で道の駅たろうからスタートし万里の長城と呼ばれた田老の防潮堤へ。船の舳先のような場所になり立ち、ガイドさんから「防潮堤は逃げる時間をつくるもの。そして、大切なものが流されないように守るものでもあること。」と説明を受けました。(写真右上は高台移転した住宅)



自然がもたらす恵みと災害を学びました

ジオサイト「山王岩」を間近で見上げる。悠久の時を経て、そこに在り続ける大地の力強さ。そこで生き、自然と共に暮らすことを実感しました。

津波遺構「たろう観光ホテル」で津波映像視聴。田老第一小学校付近の「昭和8年大海嘯記念碑」に刻まれている「大地震の後に津波が来る。遠くへ逃げては津波に追付かる。常に近くの高い所を用意しておけ。など」先人の教えを学びました。

続いて学校行事の様子をお伝えします。

5月2日(月) スポーツ大会

当日は快晴でしたが前日の雨のため、グラウンドコンディションが整わなかったため体育館で「ディスクッター9」と「ピンボーリング」を実施しました。グループごとの団体戦と個人戦で得点を競いました。他学年同士の交流も積極的に行い、非常に雰囲気の良い楽しい行事となりました。



高得点 9点 やったー!

6月20日(月) 地域活性化事業

晴天の下、体育館ピロティーにて岩手県農業士の畠山修一さんを講師にお迎えして花苗の寄せ植え体験を行いました。今年は、7種類の花苗を角型の鉢に入れました。花苗のポットをくるくる回しどこを正面にしようか、花が咲いている背の高い苗を真ん中にしようかなど、それぞれの感性で楽しみながら考えながら配置を考えました。

鉢から花苗を取り出し左側から右側へと定植し、思い思いに仕上げました。作った寄せ植えは学校近隣の施設を中心に届け交流を深めました。



こまめに水やりをして長く楽しんでください

6月24日(金) ものづくり体験教室

立根町にある陶房「^{そうんがま} 艸雲窯」の千葉征彦先生を講師にお招きして実施しました。皆、思い思いに器の形を作り上げ、白、黄、茶、青から好きな色を選びました。器は乾燥後、色付けや焼きを経て8月下旬に行われる大高祭に展示する予定です。



焼きあがるのが楽しみです



部活動の大会結果

第74回県高等学校総合体育大会

【バドミントン競技2部】



女子学校対抗

1回戦 大船渡 0 - 2 一関第一

女子シングルス

1回戦 葛西 0 - 2 小岩(一関第一)

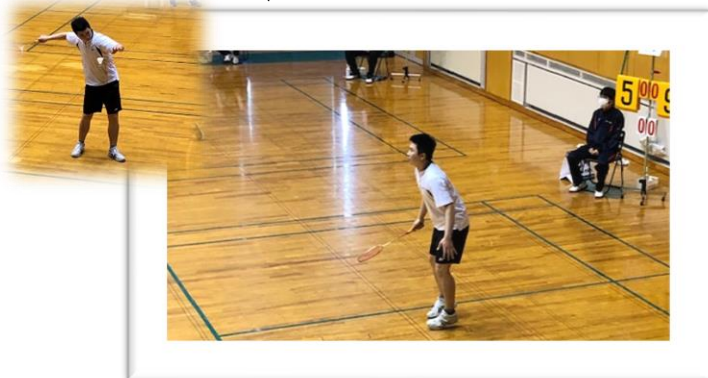
1回戦 高見 0 - 2 藤原(杜陵通信)

男子シングルス

1回戦 阿部 2 - 0 遠山(釜石)

準々決勝 阿部 0 - 2 及川(杜陵奥州)

ベスト8



【卓球競技2部】



女子シングルス

1回戦 小林 0 - 3 佐藤(一関学院・通信制)